



第2640地区

有田2000 ロータリークラブ

18-19年度 RIテーマ
【インスピレーションになろう】



No. 877

Club Bulletin

会長 南 良暢
幹事 永石睦巳
クラブ会報委員長 吉水志朗

疾病予防と治療月間

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日／毎週水曜日 19:00

事務局・例会場／〒643-0025

有田郡有田川町土生409

吉備インターゴルフセンター

TEL 0737-52-8960

FAX 0737-22-6800

E-mail: info@arida2000rotary.club

URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム

平成30年12月12日 第878回

ソング「手に手つないで」

会長の時間 幹事報告 委員会報告

ニコニコ箱報告 出席報告

年次総会

次回のプログラム

- | | |
|--------|-----------|
| 12月22日 | クリスマス移動 |
| 12月26日 | 細則による休会 |
| 1月2日 | 定款による休会 |
| 1月9日 | 新年例会 きき酒会 |

前回の報告（第877例会）

開催日 平成30年12月5日（水）

点鐘 南 会長

ソング「君が代」「奉仕の理想」

●ゲスト●

広川町立南広小学校

校長 坂本利文様

有田地方小中学校教育研究会

書写教育研究会 会長

昭和61年3月 和歌山大学教育学部 卒業

*昭和61年8月 第7回近畿青少年洋上大学参加

昭和63年4年 新宮市三輪崎小学校 教諭

平成11年4月 清水町八幡小学校

*平成15年から17年度

和歌山大学教育学部附属教育実施総合センター

特別研究員 「やればできるよIT活用-子供達の目が輝くIT授業を」

平成18年4月 有田川町教育委員会 指導主事

*平成20年度 野外運動場芝生化促進事業（小川小学校）実施

平成29年4月 広川町立南広小学校 校長



●会長の時間●

皆

さん、こんばんは。12月ですね。忙しい時期になってきていて疲労もたまって来るのではないのでしょうか。こんな時は柚子湯に浸かって疲れを取りたいところでもあります。私は、近く MISIA のライブでパワーをもらってこうと思っています。紅白にも出演する予定ですのでチェックしてみてください。ブラウン管ではもうひとつ良さが半減しますけどね。南広小学校、坂本利文校長先生、本日はお忙しい中お越し頂きありがとうございます。

昨今、暮らしや仕事にインターネットやスマホが欠かせないツールとなっていて、誤った情報も錯綜していますが、情報化社会です。ポケ

ベルもついに終わりを告げました。医療機関でポケベルをずっと持たされていて、時間に追われながらあれが鳴るのが苦痛だった頃を思い出します。

本日は小学校の校長先生がお見えということもあり、今、小学校で起きようとしているところを私なりの少ない知識でお話しさせていただきます。

将来、子供達が情報システムを理解して活用できる「論理的なものの考え方」と「プログラミングする力」が必要となることを見据え、世界でプログラミング教育が重要視されているそうです。日本では2020年から全ての小学校でプログラミング教育が必修化されるようです。そのため通信機器の整備、教諭たちの指導の標準化などが求められるものと推察します。

南広小学校においても今回の我々からの図書寄贈で、早くから学童たちにこのプログラミングに関する書籍にも触れていかれることも一理あるのではないかと愚考致します。小学校の生徒さんたちや先生方は、その時代で政府の考え方に振り回されている状況を気の毒に思います。ゆとり教育、モンスターペアレント、英語の必修化…などなど。私のいところに小学校の教頭の方が居て、よくPが！って言ってましたね。あっPというのは、PTAのことですけど。小学校では一番とっていいほど、教頭が大変らしいですね。先生といえども、教育に関する考え方は少し違っていたり、与えられている仕事を限られた期間でできなかったりと、それらをまとめ上げて、最終は教頭が後始末するという構図はどこでもあり得るんだなあと思いました。

教育を受ける権利は憲法の基本的人権として存在しています。つまり誰でも平等に教育を受ける権利をもつということです。他国では教育を受けたくても受けられない子供達が多くいます。そんな子供達は、おそらく好奇心もあり、授業を受けたくてウズウズしている子がたくさんいるのではないかと思います。

人間は裕福な環境に浸ってしまうとそんな根本的な有り難みは薄れてしまいがちになります。私も、昔の医療機器では診断しなくなり、昔に重宝されていたその医療機器の有り難みを忘れてしまいがちです。これから社会は外国の人たちを受け入れて共存していかないとイケない世の中になっていこうとしています。島国の日本は海外旅行に出向いても、外国の人たちとの共存は不慣れです。ずっと先のことでしょうが、学校社会においても、職場においても、さらにはロータリアンにおいても、肌の違う人たちが増えていくことでしょう。そんな準備や教育も並行して行われるべきではないかと思ひます。

校長先生の面前でこのような稚拙な話を述べてまして恐縮いたしました。

●幹事報告●

副幹事 上野祥弘君

○報告事項

1. クリスマス例会の出欠確認

駐車場の乗り合わせをお願いします。

2. 2018年度決議審議会 結果(回覧)

3. 疾病予防と治療月間(回覧)

4. バギオ基金の案内(回覧)

5. 例会終了後理事会開催致します。



●各委員会報告●

●有田川町駅伝協力●

上田益稔君

10月12日 有田川駅伝大会実行委員会の出席報告。 3月3日開催 例年同様後援

表彰式11時30分からメダルを寄贈
会長出席。



●職業奉仕委員会●

樋口明君

四つのテスト唱和

●12月誕生日●

上野祥弘君

お誕生日おめでとうございます☆彡



●ニコニコ箱●

南良暢君：坂本利文校長先生 本日も越し頂き有難うございます。

上田益稔君：坂本校長先生 本日はお越し頂き有難うございます。

寺村公博君：南広小学校 坂本校長先生様 本日は宜しくお願い致します。

大浦輝彦様：みなさんこんばんは 坂本校長先生 本日の卓話宜しくお願い致します。

上野祥弘君：坂本校長先生様 本日の卓話宜しくお願い申し上げます。

辻本正成君：坂本様 本日はありがとうございます。よろしくお願い致します。

川島信治君：坂本校長先生 本日はお越し頂き有難うございます。 平松さんいつもありがとうございます。

●出席報告●

	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	16名	12名	75%
11月14日	16名	13名	81.25%

●卓話●

豊かな心を育む読書活動の充実

広川町立南広小学校長 坂本 利文様



こんばんは 只今ご紹介に与りました広川町立南広小学校長の坂本利文です。

この度は、有田ロータリークラブ2000例会にお招き頂き、本当にありがとうございます。また、先だっては、本校に対して過大な図書購入費のご寄贈をたまわりまして、誠に有難うございました。皆様方の温かいご支援に対しまして、本校を代表し改めて心より厚く御礼申し上げます。

さて、本日は、皆様方から頂いた購入費を活用しての新たな取り組みを含め、本校における読書活動充実の取組を紹介させていただきます。

1 本校の概要

南広小学校は、広川町の南側に位置し、広川インター付近から西広海岸までの東西6キロに広がる校区となっております。国道42号線から西広海岸に抜けるアクセス道路に近接する本校を中心に、東側には井関分校、西側には西広分校という2つの分校を持つ学校でした。しかし、児童数が極端に減ったことで平成28年度に井関分校が休校となり、現在、本校と西広分校のみとなっております。

本校の校舎は、南広地域の中心地である上中野地区にあり、校舎北側には稲むらの火で村人が避難したと言われる吉水先生のお寺、法蔵寺や、広八幡神社といった国の重要文化財があります。いずれも今年の5月24日に、日本遺産

「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～として認定された、我が国が世界に誇る偉人「濱口梧陵」や防災の歴史に関する重要な場所があります。また、校舎南側は丘陵地となってミカン畑やぶどう園などが広がり、山頂付近には、風車が林立しています。

一方、西広分校は、西有田県立自然公園に含まれる西広海岸、あるいは、新鮮な魚介が豊富に水揚げされている唐尾漁港が近くにあり、温暖で風光明媚なエリアにあります。

地域の方々には、年2回実施する古紙回収や各学年の体験活動の講師としてなど、様々な形で本校教育活動を支えてくださっています。

こうした自然や歴史遺産、そして、地域の方々の温かい愛情に恵まれた豊かな地域が南広

地区であり、その環境の中で子供たちは学校生活を送っています。

2 日頃の取組

昨年度（平成29年度）本校に着任した際、1番の課題

となっていたのは、学力低下の傾向が続いていることでした。特に、国語科に課題が見られたので、学校研究主題を国語科の授業改善に改めました。また、読書への関心が高くない状況もありましたので、学校司書の協力を得ながら、読書をすすめることや、図書室の利用促進を図る取組を強化することなどを読書活動推進の柱にした本校の特色ある取組の一つにしました。

H29年度

①並行読書のすすめ…国語の教科書に掲載されている本をできる限り購入して図書室や質や教室の一角に集めておき、授業にも積極的に活用してもらう。

②図書イベントを増やす…年1回程度だった図書イベントを、学期ごと（年3回）に行い、図書室への来室や読書への興味関心を高める企画を実施する。

1学期…「スタンプラリー」

2学期…「本の帯で作った特製しおりプレゼント」

3学期…「本のお楽しみ袋（スタンプカード入り）」

③子供同士の読書交流…1年生が新入児に、あるいは、図書委員が各クラスで、など、子供による読み聞かせの機会を増やす。

5年生は、毎月の誕生会に各自のお薦めの本を紹介するようにする。

教室でのブックトーク（3年生）などの機会を増やす。

④図書委員会の活性化…学校司書の協力を得て、図書委員会の活動を充実させる。

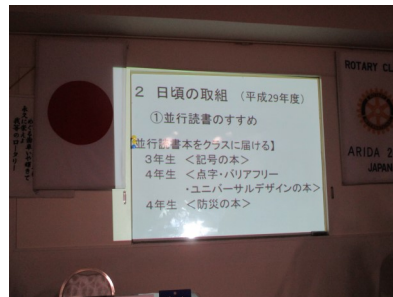
（図書クイズを作成して掲示、読み聞かせの機会を増やす など）

H30年度（平成29年度の取組は、継続中）

①ブックバックを導入…家庭における読書機会を増やすためにブックバック（図書室で借りた本を家庭へ持ち帰るための専用バッグ）を導入。

②読書状況の数値化…図書の貸出がバーコードの読み取りによる入力となり、貸出総数や学年別の読書状況など、図書室での貸出状況を集約しやすくなった。そこで、毎月学年別の読書総数ベスト3や、4月からの貸出冊数合計、人気本のランキングなどを掲示して読書意欲を高める試みを始めました。

③図書委員による本の帯づくり…新しく購入した本について、図書委員が先に読み、作品の内容や



おすすめの場面などを紹介する、本の帯をつくる。

④図書イベント（継続）

1学期…「ブックバッグスタンプカード」

2学期…「読書ビンゴ」

⑤絵本作家による読み聞かせイベント…武田美穂先生による読み聞かせを実施（11月12日）

3 今回の図書購入費を活用した取組

以前から学校司書が計画していたが、公費での購入となるといろいろと制約があるため実現できなかった取組を実施することにしました。ちょうど、ブックバックの取組を広げようとしている時期でもありましたので、1学期の図書イベントと一緒に実施しました。

1) 取組内容・ブックバックを持ってくると読書ポイントカードが渡されます。

- ・読書ポイント（1冊1ポイント）を10p以上貯めた人に、自分が好きな本を注文できる、という特典を付けます。

- ・達成できた児童から希望図書（リクエスト）を提出してもらい、学校図書として相応しくないと判断した本のみを除外し、それ以外であれば予算範囲で購入します。

- ・本が届いたら、その本を持った児童の写真を一緒に掲示し、自分がおすすめの本として他の児童に知ってもらいます。

2) 取組状況・振り返り

- ・学校司書が来る月曜日と木曜日を中心に、図書室への来室者が増えました。

- ・「自分がお気に入りの本を図書室に入れてもらえる」という強い願いを持つ児童が多いのに驚きました。

- ・最終的には、90人がリクエストする権利を獲得することができました。（半数近くの子供）

- ・様々なリクエストに応じることができました。

- ・その本を持って友達に紹介する姿が増えました。

4 まとめ

従来本校で行われてきた読書指導では、これ以上の成果は得られないと判断できたのは、県が読書推進に係る様々な研修会を実施し、他府県や県内各地で取り組まれている優れた実践を学校司書や教員に紹介している内容と比べて、本校の取組はまだ追加して実施できる余地が残っていると感じたからです。

そこで、学校長自ら学校司書との連携を深め、積極的に読書推進の旗振り役を行いました。すると、学校司書の取組が積極的になって教員にも貸出冊数の増加という成果が見えるようになりました。そうすると教員も、日常の授業などで図書室へ行って子供が調べ物をする機

会を増やすなど、授業の中に図書室の機能をうまく利用するようになってきました。

また、図書委員会担当教員と学校司書との連携の橋渡しも行い、図書委員会活動の活性化を図った結果、意欲的な子供が図書委員になるようになり、日常の活動やイベントの準備等で力を発揮してくれるようになりました。

その結果は次の通りです。

【貸出総数】

平成27年度	6132冊
	1371冊増加
平成28年度	7503冊
	3308冊増加
平成29年度	10811冊
平成30年度	9524冊（10月末時点）

→11月末の時点で一万冊は超える予定

それぞれの持ち場で、積極的に活動しはじめたことで、子供達の興味関心を引きつけ、その結果、図書室へ来室して本を借りる子が増えてきたのだと思います。

4 結び

子供たちが笑顔で新しい本に接する機会を得られました本当に感謝致しております。今後とも、子供たちの夢や希望を育む図書室となるよう、おこころざしを使わせていただいて購入した本を含め、本校における読書活動のますますの活性化をめざし取り組んで参る所存です。今後とも、変わらぬご支援・ご指導の程よろしくお願い致します。

多事多難に過ぎた今年も残すところあとわずかとなりましたが、皆様どうぞご自愛の上、良き新年をお迎えくださいませ。

※法蔵寺…安政の津波での避難場所となった寺。津波襲来時に危機を知らせた鐘楼と被災民に貯蔵米を供出した蔵が残る。（国の重要文化財）

※広八幡神社…安政の津波での避難場所となった神社、濱口梧陵は広八幡神社に避難した後、村人を救出に向かい稲むらに火を放っている。（本殿などは、国の重要文化財）



閉会点鐘 南会長

